

## 6 モニタリング

モニタリングは、防除の成果やアリの生息範囲を調べるために、生息アリを捕捉して、その種類や密度を調べることをいい、次のいずれかの方法で行います。



### 《ショ糖トラップ》

調査区域に、砂糖水を染み込ませた脱脂綿を一定時間（30分程度）設置して、集まってきたアリの数や種類を観察します。



### 《粘着トラップ》

箱の中に粘着シートがあり、これを3日～1週間程度設置することで、中を通過するアリを捕捉します。ショ糖トラップのようにアリを集める機能はありませんが、自然なアリの状態を調べることができます。

トラップは、見かけても手を触れたり、移動したりしないようにご協力をお願いします。

## 7 防除の効果

防除が予定通り円滑に行われた場合、**2年以内にある程度の効果がみえてきます**。しかし、アルゼンチンアリが部分的に残っているとそこからまた増えてしまいますので、見かけなくなったらといって気を緩めずに、モニタリング結果をみながら根絶まで根気よく3年間を当面の目安として**防除体制を継続することが大切です**。

アルゼンチンアリ防除に関するご質問やご意見はこちらをお願いします。

環境省 近畿地方環境事務所 野生生物課  
〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31  
大阪マーチャンダイズマート(OMM)ビル 8F  
TEL 06-4792-0706 FAX 06-4790-2800

# アルゼンチンアリ 防除のしおり

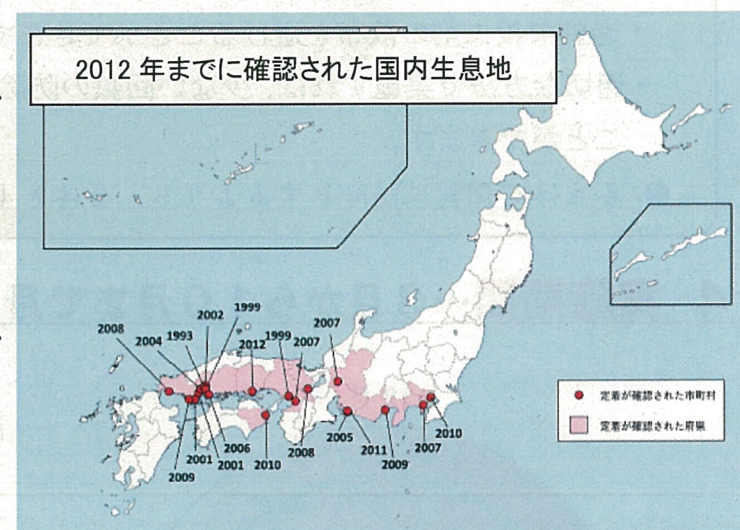
あなたの地区では、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリが生息しています。

アルゼンチンアリは、放置すると生息密度が高まり家のなかへの侵入が増え不快害虫となるほか、在来のアリを駆逐してしまい生態系を破壊することが知られています。

このしおりは、アルゼンチンアリの生態と駆除の仕方についてとりまとめているので、これから取り組む防除に向けてぜひご一読ください。

## 1 アルゼンチンアリとは

アルゼンチンアリとは、南アメリカ(アルゼンチン北部、ウルグアイ、パラグアイ、ブラジル南部)を原産地とする外来生物です。近年、世界的な貿易流通量の拡大に伴い、物資に付着して世界中に広がりつつあります。日本にもすでに侵入しており山口県、広島県、兵庫県、大阪府、徳島県、愛知県、静岡県、神奈川県、東京都の港湾都市や、京都府、岐阜県の内陸の住宅で定着が確認されています。



## 2 アルゼンチンアリの特徴

アルゼンチンアリの特徴は次のとおりです。



- ・全長は2.5mmくらいで体型は小さくてスマート。
- ・行列を作って行動。家の中にも入ってくる。
- ・日本のアリより歩くスピードが速い。
- ・ブロックのひび割れや植木鉢の底など小さなスペースに巣を作ることができる
- ・定着力が非常に強く日本の在来アリを駆逐してしまう。
- ・一つの巣の中で複数の女王アリが存在することができる。



### 3 一斉防除が必要

アルゼンチンアリを局所的に根絶させたとしても、その周囲に生息していれば、すぐに再侵入を許し、もとの個体数レベルまで回復してしまいます。そのため、再侵入を防止する観点から必要十分な防除実施区域を設定した上で、一斉に、集中的に防除を実施する「一斉防除」の手法が必要です。

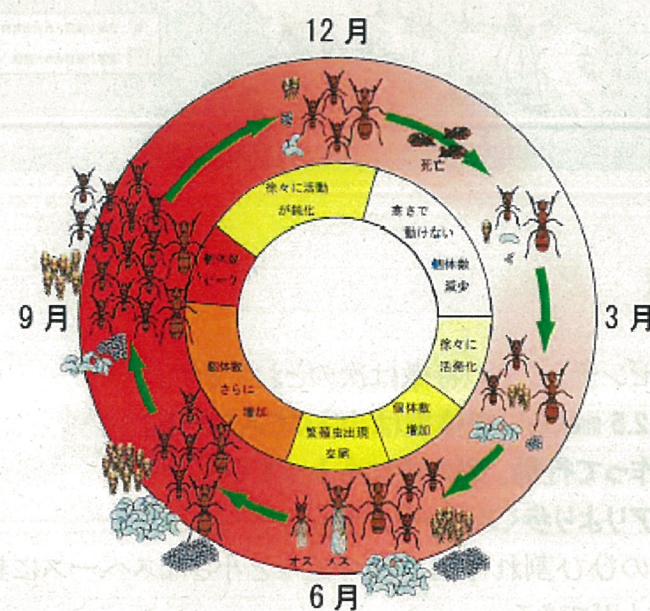
一斉防除の利点としては以下のようなことが挙げられます。

#### 一斉防除の利点

- 周辺からの再侵入が起こりにくく、防除効果が長続きます。
- 環境への負荷を小さくできます。
  - ・ 過剰な殺虫剤の散布を避けることができます。
  - ・ 適切な方法で実施すれば、少ない回数の防除でアルゼンチンアリの被害を抑えることができます。
- 各主体が個別に防除をするよりも、全体として低いコストで実施できます



### 4 実施期間…3月から10月まで月1回の8回が目安です



アルゼンチンアリの防除は、アリの活動期に合わせて行います。

**最も適しているのが4月～6月です。**これは以下の理由によります。

- ・ 活動が活発になり始めエサをよく食べる。
- ・ 個体数が比較的少なく殺虫剤を効果的に使用できる。
- ・ 女王アリ候補が成長する時期で新たな女王の誕生を未然に防げる。

**アルゼンチンアリの年間の活動期は3月から11月上旬ですので、この期間に行う一斉防除は効果的です。**逆に活動が低下する11月下旬から2月に

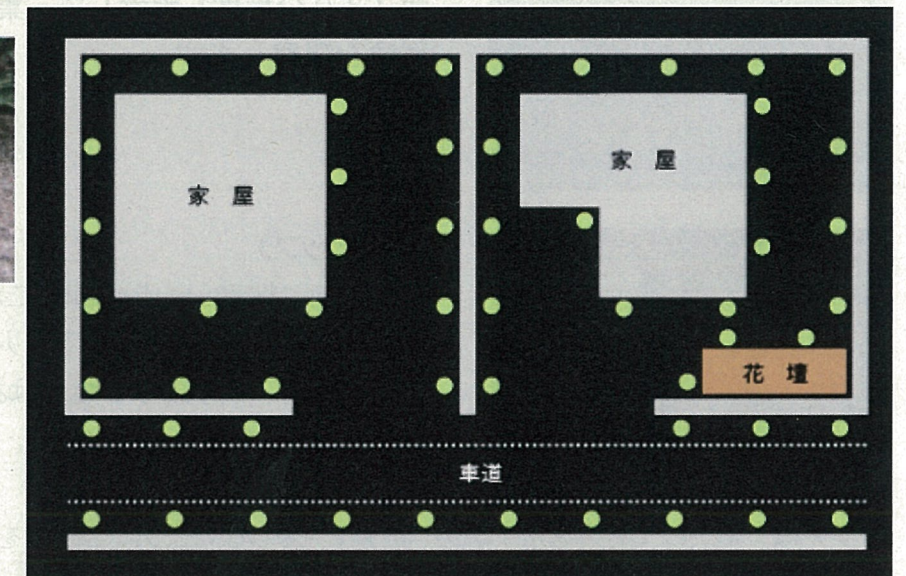
かけての気温の低い時期は、アルゼンチンアリの活動が低下しますので防除を休止します。

### 5 薬剤の使用…2種類の薬剤で駆除します

#### 【ベイト剤】

餌に遅行性（ゆっくりと効いていく）の殺虫剤を含ませたものです。これを働きアリに巣に持ち帰ってもらって、卵を産む女王アリを退治します。

#### 〔ベイト剤の設置方法〕



#### 《設置方法》

- (1) ベイト剤は、アルゼンチンアリの通り道となりやすい建物沿いや壁際、通路沿いに等間隔で置いていきます。**間隔は10m以内で敷地内と隣接する歩道等に設置します。(住宅の敷地内は、各戸で薬剤を調達し、設置してください。)**
- (2) ベイト剤は最低1週間以上放置し、その後適宜回収します。今回の防除では1か月後の次の設置時に回収する計画です。
- (3) 使用済みのベイト剤容器はプラスチックごみとして処分します。
- (4) 薬の薬効は、2～3週間です。雨には弱いですが、雨の日も回収せず放置し、次回設置するベイト剤に期待します。

#### 【液剤】



液剤は、アリ同士がなめ合う習性（グルーミング）を利用した薬剤で、巣の中でのグルーミングによる効果が期待できるアルゼンチンアリ対策に有効な薬剤です。成分はベイト剤と同じものです。**アリの行列を見つけたら直接かけるか、アリの巣に流し込んでください。**

ただし液剤をあまりかけすぎると、巣にたどり着く前にアリが死んでしまいますので注意が必要です。



